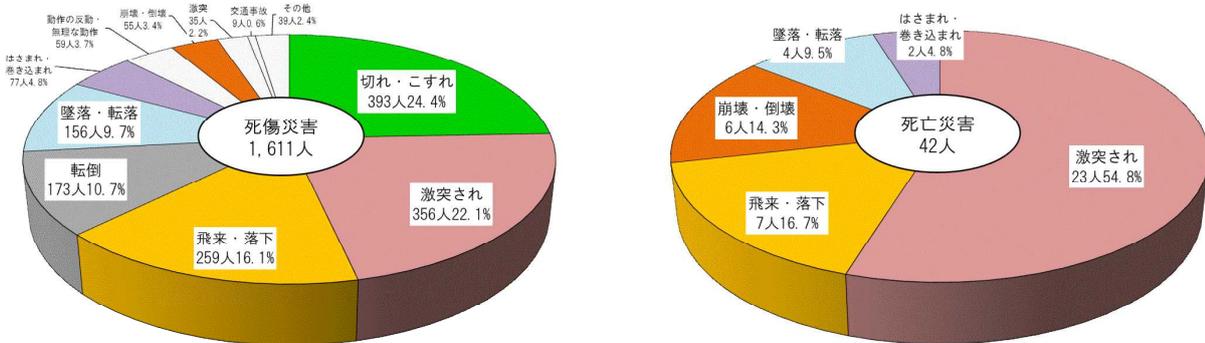


林業安全コラム

「トップの決意とみんなの創意
リスクを減らして進める安全」
～「平成17年度全国安全週間スローガン」より～

○ 林業労働災害の現状について

○ 事故の型別の災害状況（平成26年）



平成26年における労働災害は、厚生労働省によると、休業4日以上¹の死傷者数死者数は、1,611人で112人減少²しており、近年、減少傾向にあります。死亡者数については、42人で前年比3人増³となっており、平成24年度以降増加傾向⁴にあります。

死傷災害は、チェーンソー等による切創によるもの（切れ・こすれ）が全体の24%を占め最大となっており、死亡災害は、伐倒木等の物に激突されたもの（激突され）が5割以上を占め、木材伐出中に起きた災害は全体の7割以上となっておりま

す。
本年も既に15件（5月23日現在）の死亡災害の報告が該当県から寄せられており、災害多発の傾向が見受けられます。

○ 今月は、全国安全週間（7月1日～7月7日）の準備月間です。

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で88回目を迎えます。

平成27年度の全国安全週間のスローガンについては、安心して働くことができる職場づくりを目指すに当たり、職場をあげて危険個所を発見し、速やかに労働災害防止対策を講じることを通じて事業場の安全意識を醸成することが重要であるという観点から、

「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」

をスローガンに展開されます。全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図りましょう。

○ 熱中症に注意

厚生労働省によると、林業における過去4年（平成22年から25年）の職場における熱中症による死亡災害は6名となっており、死傷災害（休業4日以上）についても、17人と近年増加傾向にあります。月別発生状況では8月が最も多くなっていますが、5月に発生している事例も見られます。今後、下刈作業など炎天下での作業も始まるため、現場巡視等では早めの注意喚起をお願いします。

- ・ 全国安全週間準備月間 6月1日～6月30日
詳しくは→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/000076689.html>
- ・ 危険物安全週間 6月7日～6月13日
詳しくは→ <http://www.zenkikyo.or.jp/anzen/>

林業労働対策室
労働安全衛生班